

船用機関用 NOx 対応 SCR 装置に使用する尿素水生成装置の初号機を出荷

当社は、2019年2月25日に船用機関の排気ガス中に含まれる窒素酸化物の還元剤である尿素水を生成する「尿素水生成装置」を商用初号機として造船所向けに出荷いたしました。

尿素水生成装置は、IMO(国際海事機関)のNOx第3次規制に対応する排気ガス後処理装置(選択触媒還元法脱硝装置)「以下、SCR装置」の還元剤として使用される尿素水を尿素粉末と純水から生成する装置であり、船内で必要な量を生成できるため、尿素水貯蔵タンクの小型化を図るとともに、品質の安定した新鮮な尿素水の生成ができます。

今回出荷いたしました尿素水生成装置はDNS-300(一回当たり尿素粉末300kgを使い、40%濃度尿素水生成量675Lit)で、当社製主機6DCM-32eL(定格出力2750kWm)に対応するSCR装置と共に納入され、2019年7月に就航される予定です。

また、当社の尿素水生成装置のラインナップは以下の通りであり、現在4台の受注を頂いておりますが、今後とも確実な需要増加を見込んでおります。

以上

型 式			DNS-300	DNS-500	DNS-1000
尿素粉末重量(投入量)	kg		300	500	1,000
尿素水濃度	% wt		40	40	40
必要純水量(投入量)	Lit		450	750	1,500
生成尿素水量	Lit		675	1,120	2,250
尿素水攪拌移送ポンプ電動機	—		2.0kW	2.0kW	5.5kW
加熱ヒータ	—		電気式		
ポンプ/ヒータ電源	—		AC440V 60Hz 3相		
外形寸法	全長	mm	2,000	2,400	2,800
	全幅	mm	1,700	2,000	2,550
	全高	mm	1,400 ※1	1,400 ※1	1,600 ※1
重量	乾燥重量	kg	780	1,060	1,310
	運転重量	kg	1,530	2,310	3,810

※1：タンク上面までの高さ

【本件に関するお問い合わせ先】

管理統括部 水科 TEL:06-6454-2331

カタログ URL

http://www.dhtd.co.jp/assets/flash/pdf_aus_jp/book.pdf



初号機出荷時の様子